

事業所向け放課後等デイサービス自己評価表

有効回答数 6件

該当事業所 ツクル(生駒市俣口)

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	0	0	個別課題に取り組むフロアと集団で過ごすフロアに分けて、それぞれの活動が行いやすいよう配慮している。
	② 職員の配置数は適切であるか	5	1	0	0	公認心理師や言語聴覚士といった専門職を配置した上で、適切な教育を行えるよう人数を配置している。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	5	0	0	建物の構造上、どうしても段差が生まれてしまう部分がある。肢体不自由な人でもなるべく負担が少ないよう配慮している。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	0	0	0	毎日の療育の目的設定と振り返り、次回に向けた検討などを職員全体で行うようにしている。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか	3	3	0	0	自己評価の際に保護者にもアンケートを依頼している他、普段の利用時やモニタリングの際にも保護者の話を聞く機会を設けて、業務改善に努めている。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	3	0	0	毎年自己評価を行い、その結果を自社HPにて掲載している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	5	0	0	現時点では第三者によるちゃんとした評価体制が出来ていないため、今後の課題としている。
適切な支援の提供	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1	0	0	内部研修だけでなく、外部の研修も奨励し、毎月目標設定を行いながら研修を行っている。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	0	保護者や支援者へのヒアリング、子どもの様子などを見たと計画を作成し、その後も情報共有などを行いながら支援に当たっている。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2	0	0	今はまだ実施まで至っていないが、今後検査用具などを導入していくことを予定している。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0	0	日々の療育や祝日のイベントなど、話し合いの時間を取ってお互いの意見を取り入れながら立案を行っている。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	0	子どもたちの反応を見ながら、新しい課題を取り入れることを意識するようになっている。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	0	0	0	祝日にはイベントを実施している他、定期的に〇〇週間を設けて子どもたちの刺激になるよう努めている。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1	0	0	保護者へのヒアリングなども踏まえ、一人一人の課題を検討した上で作成している。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0	0	毎日必ず朝礼の時間を設けて、その日来る利用者の情報や、支援上の確認事項など共有を行っている。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	0	0	毎日支援終了後に振り返りの時間を設けて、その日あった出来事や利用者の様子などについて話し合いを行い、記録に残して共有を行っている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	1	0	ただ記録をつけるだけでなく、毎日の記録に管理者が目を通し、次回への課題の共有を職員全体でも行うように努めている。
	⑱ 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	0	最低でも半年に一回モニタリングを行い、個別支援計画の見直しと最近の様子について情報共有を行っている。
	関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	1	0	0
⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		4	2	0	0	事前に事業所内でも情報を取りまとめた上で、管理者が参加するようにしている。
㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		4	2	0	0	学校の情報については保護者を通して確認を行っている。送迎等については今年1年で特にトラブルはなかった。
㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		2	4	0	0	現状医療的ケアが必要な児童の受け入れ実績がないが、普段から保護者と持病やかかりつけの病院の確認などは行っている。
㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		3	3	0	0	受け入れ児童が概ね小学校高学年からが多いため、実績はないが、学校連携については積極的に取り組んでいきたいと考えている。
㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		3	3	0	0	中学卒業時に利用終了になったりすることが多く、移行に対する対応の実績がほぼない。今後必要になった際には応えられるよう準備している。
㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		3	3	0	0	利用者の情報共有や困りごとがあった時の相談など連携をとっている。
㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		0	3	3	0	まだちゃんとした実績がないため今後の課題としている。他事業所とも連携しながら取り組んでいきたいと考えている。
㉗ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		4	2	0	0	生駒市の自立支援協議会および放デイ協議会に参加している。
㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		6	0	0	0	毎日の送迎時や事業所独自のシステムから保護者と情報共有を行うように努めている。
㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		3	3	0	0	保護者支援も意識して行うようになっているが、ペアレントトレーニングなどについてはまだまだ知識が薄いと思うので、職員自体の技術向上も検討していきたい。
運用規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	㉚ 運用規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	0	利用契約時に全保護者に説明を行っている。また保護者から質問があった際には都度対応をしている。
	㉛ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	0	積極的に相談に応じるようにし、また内容について職員間でも情報共有を行い共通理解にするよう努めている。

保護者への説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	0	0	0	今年度3月にグループ全体で合同保護者会の開催を予定している。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	0	管理者が窓口となり対応を行っている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	0	毎月の行事予定についてはHP、SNS、チラシなどを活用し広報活動を行っている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	5	1	0	0	利用者間、利用者-職員間を問わず個人情報のやり取りについては注意して対応している。また書類等も鍵をかけて保管している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	0	視覚的に分かりやすい資料を用意したり、保護者が求める情報伝達の手段での対応を心がけたりするようにしている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	2	0	まだちゃんとした実績がないため今後の課題としている。他事業所とも連携しながら取り組んでいきたいと考えている。
	非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	2	0	0
③⑨		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	3	0	0	療育の時間を活用し、小集団で災害発生時の行動や、防災の意識についての周知活動を年2回行っている。今年度は防災カードを保護者にも配布しより理解を深めてもらえるよう努めている。
④⑩		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	0	市や県が主催する虐待防止の研修に参加し、またその内容を事業所内でも再度研修を行い、周知に努めている。
④⑪		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1	0	0	身体拘束については、利用契約時に全保護者に説明を行っている。また万が一、実際に行うことがあった際には、その場合の報告について職員内にも周知を行っている。
④⑫		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	5	0	0	現在ツクルでは飲食の提供を行っていないため、対応の実績はないが、利用者の持病等については事前のアセスメントを行っている。
④⑬		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1	0	0	ヒヤリハットだけでなく、些細な業務上のミスなども共有し、周知や対策、意識付けを行うようにしている。
	その他意見など	○今年度は研修の機会が増え、放課後等デイサービスで働く基礎の知識から学び直しています。研修で学んだ内容を実際に療育に活かす場面があったため、これからもぜひ継続していきたいと存じます。					